

平成 18年 4月 17日

平成 17 年 度 教 育 研 究 業 績 書

氏 名 道明 義弘

最終学歴	神戸大学大学院経営学研究科博士課程単位取得満期退学
取得学位	経営学修士（神戸大学）
所属学会	日本経営学会、組織学会
現在の専門分野	経営学
研究課題	企業行動の国際比較
【研究上の特記事項】 平成17年度 基盤研究（B） 課題番号：17330058 「構造改革は新たな投資を生み出すか？ 設備廃棄の動的パネル分析と実地調査」 研究分担者	
【教育上の特記事項】	
【社会的活動】 奈良県生涯学習カレッジ：生涯学習特別講座 講師	
【学内活動】 （学内職歴を含む） 現代社会学科主任、企画委員会委員、情報処理センター運営委員会委員、 ネットワーク委員会委員、入試問題出題責任者（公民領域）、学科予算委員 21世紀長期計画基本構想委員会委員、自己点検・自己評価委員会委員 就職資格支援委員会委員、関西教授会連合委員	

著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
(著書)				
1				
2				
3				
4				
5				
(学術論文)				
非営利組織における事業の効率性について—サイモンによる考え方の枠組み	共著	平成17年 5月	非営利法人 No. 723 pp. 4-14	自治体活動の効率をいかに測定するかについて論じたサイモンの所説を紹介し、非営利法人における効率の測定への適用可能性を探った。
H.A.Simon の名著“Administrative Behavior”の成立をめぐって—手紙から見るその過程—	共著	平成17年 9月	立命館大学 ファイナンス研究センター Research Paper Series No. 05-001	サイモンの著書「経営行動」(1947年)の成立をめぐる背景を、彼への手紙と彼からの手紙を元に、再構成し、学位論文から著書出版までの動きを追いかける第一段階の論攷。
新興市場企業の営業損益をめぐる行動分析—動的パネル分析の基礎としての個別決算集計データにみるその姿—	共著	平成18年 3月	奈良大学紀要 第34号 pp. 127-147	1987年から2004年3月決算までの期間について、新興市場に上場している企業について、営業利益を生んでいる企業と営業損失に陥っている企業について利益その他の項目を集計し、それぞれの企業行動の特徴と相違を明らかにしている。
企業行動と動的パネル分析	共著	平成18年 3月	奈良大学情報処理センター年報 No. 16 pp. 13-31	企業財務データに基づいて企業行動を分析する方法の一つとして、動的パネル分析による方法を紹介し、分析プログラムを開示している。
5				
(学会発表)				
1				
2				
3				
4				
5				
(その他)				
1				
2				
3				
4				
5				